

# 令和4年度下水道事業 上半期業務状況説明書

## 1 事業の概要

主な建設改良工事の執行状況（100万円以上）

	工事名	工期	契約額（円）
1	清水沢マンホールポンプNo.1更新工事	R4. 6. 30～R4. 12. 26	2,915,000
2	特定環境保全公共下水道ストックマネジメント基本計画策定業務	R4. 7. 8～R5. 3. 27	9,680,000

## 2 経理の状況

### (1) 予算執行状況

収益的収入及び支出

区 分		予算額（円）	執行済額（円）	執行率（％）
収 入	1 公共下水道事業収益	131,879,000	30,850,135	23.4
	1 営業収益	34,172,000	16,436,664	48.1
	2 営業外収益	97,706,000	14,413,471	14.8
	3 特別利益	1,000	0	0.0
支 出	1 公共下水道事業費用	127,259,000	24,813,140	19.5
	1 営業費用	120,195,000	21,737,550	18.1
	2 営業外費用	6,964,000	3,075,590	44.2
	3 特別損失	100,000	0	0.0

資本的収入及び支出

区 分		予算額（円）	執行済額（円）	執行率（％）
収 入	1 資本的収入	41,954,000	42,216,300	100.6
	1 負担金及び分担金	50,000	312,300	624.6
	2 国庫補助金	8,100,000	8,100,000	100.0
	3 他会計出資金	33,804,000	33,804,000	100.0
支 出	1 資本的支出	57,621,000	31,809,761	55.2
	1 建設改良費	20,306,000	13,233,000	65.2
	2 企業債償還金	37,315,000	18,576,761	49.8

(2) 損益計算書

令和4年度住田町下水道事業損益計算書

(令和4年4月1日から令和4年9月30日まで)

(単位：円)

1	営業収益			
	(1) 下水道使用料	14,917,240		
	(2) その他営業収益	27,700	14,944,940	
2	営業費用			
	(1) 管路施設管理費	758,675		
	(2) 処理場施設管理費	7,167,447		
	(3) 総係費	2,589,554		
	(4) 減価償却費	42,827,500	53,343,176	
	営業利益			△ 38,398,236
3	営業外収益			
	(1) 受取利息及び配当金	471		
	(2) 他会計補助金	14,402,000		
	(3) 長期前受金戻入	34,449,500		
	(4) 雑収益	11,000	48,862,971	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	3,075,590	3,075,590	45,787,381
	経常利益			7,389,145
	当年度純利益			7,389,145
	前年度繰越利益剰余金			15,987,519
	その他未処分利益剰余金変動額			0
	当年度未処分利益剰余金			23,376,664

(3) 貸借対照表

令和4年度住田町下水道事業貸借対照表  
(令和4年9月30日)

(単位：円)

資産の部			
1. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
イ. 土地		9,421,186	
ロ. 建物	104,860,788		
減価償却累計額	<u>△ 8,790,534</u>	96,070,254	
ハ. 構築物	1,651,401,185		
減価償却累計額	<u>△ 124,109,999</u>	1,527,291,186	
ニ. 機械及び装置	223,067,533		
減価償却累計額	<u>△ 127,350,950</u>	95,716,583	
ホ. 工具器具及び備品	367,215		
減価償却累計額	<u>0</u>	367,215	
ヘ. 建設仮勘定		<u>580,000</u>	
有形固定資産合計			1,729,446,424
(2) 無形固定資産			
イ. その他無形固定資産		<u>19,142,210</u>	
無形固定資産合計			<u>19,142,210</u>
固定資産合計			1,748,588,634
2. 流動資産			
(1) 現金預金		124,784,950	
(2) 未収金	10,250,097		
貸倒引当金	<u>△ 429,938</u>	9,820,159	
(3) その他流動資産		<u>904,946</u>	
流動資産合計			<u>135,510,055</u>
資産合計			<u><u>1,884,098,689</u></u>

負債の部

3. 固 定 負 債			
(1) 企 業 債			
イ. 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	280,137,477		
ロ. その他の企業債	<u>19,470,000</u>		
企 業 債 合 計		299,607,477	
(2) その他固定負債		<u>210,000</u>	
固 定 負 債 合 計			299,817,477
4. 流 動 負 債			
(1) 企 業 債			
イ. 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	16,982,710		
ロ. その他の企業債	<u>1,755,000</u>		
企 業 債 合 計		<u>18,737,710</u>	
(2) 未 払 金		903,986	
(3) その他流動負債		<u>1,491,724</u>	
流 動 負 債 合 計			21,133,420
5. 繰 延 収 益			
(1) 長 期 前 受 金		1,566,059,292	
長期前受金収益化累計額		<u>△ 226,699,879</u>	
繰 延 収 益 合 計			<u>1,339,359,413</u>
負 債 合 計			<u><u>1,660,310,310</u></u>

資本の部

6. 資 本 金			200,411,715
7. 剰 余 金			
(1) 利 益 剰 余 金			
ア. 当年度末処分利益剰余金	<u>23,376,664</u>		
利 益 剰 余 金 合 計		<u>23,376,664</u>	
剰 余 金 合 計			<u>23,376,664</u>
資 本 合 計			<u>223,788,379</u>
負 債 資 本 合 計			<u><u>1,884,098,689</u></u>

### 3 決算の状況

#### (1) 業務の状況

令和3年度末の下水道の普及状況は、処理戸数が前年度比41戸減の845戸、処理区域内人口は前年度比80人減の1,752人となり、処理区域内人口に対する水洗化人口は前年度比33人減の1,584人で、水洗化率は、前年度比2.15ポイント増の90.41%となった。

年間総処理水量及び有収水量の状況は、年間総処理水量が前年度比2,750 m<sup>3</sup> (1.60%) 減の168,842 m<sup>3</sup>、年間総有収水量は前年度比8,261 m<sup>3</sup> (4.81%) 減の163,331 m<sup>3</sup>、有収率は前年度比1.2ポイント減の96.74%となった。

#### (2) 建設改良等の状況

令和3年度における建設改良等工事の実施はなかったが、次年度に向けて施設等の更新計画となる「住田町ストックマネジメント計画」の策定に向けた準備を進めた。

#### (3) 収入及び支出の状況

##### ア 収益的収入及び支出（税抜き）

事業収益は前年度比23,465,450円(12.97%)減の157,419,277円であり、その内訳は、下水道使用料等の営業収益が前年度比613,340円(1.94%)減の31,055,370円、長期前受金戻入等の営業外収益が前年度比23,379,110円(15.67%)減の125,836,907円、特別利益が527,000円である。事業収益の減は、総務省の繰出基準に基づく一般会計補助金の減、元金償還に充てた一般会計補助金分の長期前受金戻入額の減が影響している。

一方、事業費用は前年度比2,596,342円(1.80%)減の141,431,758円であり、その内訳は人件費、減価償却費等の営業費用が134,788,816円(0.61%減)、企業債利息等の営業外費用が6,642,942円(10.53%減)である。事業収益から事業費用を差し引いた当年度純利益は前年度比20,869,108円(56.62%)減の15,987,519円となった。

また、営業収益と営業費用を見ると、103,733,446円の営業損失となったことから今後経営健全化に取り組んでいく必要がある。

##### イ 資本的収入及び支出（税込み）

資本的収入は前年度比5,135,382円(13.16%)減の33,877,070円であり、その内訳は、負担金及び分担金787,070円(87.84%減)、出資金が33,090,000円である。

一方、資本的支出は前年度比5,794,304円(13.64%)減の36,676,897円で、内訳は、企業債償還金36,676,897円(1.73%増)である。資本的支出の総額の減は、令和3年度における建設改良工事の実施がなかったことによるものである。

資本的収入が資本的支出額に対して不足する額2,799,827円については、過年度分損益勘定留保資金2,799,827円で補填した。

年度末の企業債残高は前年度比36,676,897円(9.82%)減の336,921,948円で、下水道使用料

等に対する割合は 1,088.10%となっており、多額の企業債償還負担のもとで今後の施設更新費用を捻出していくため、施設規模の見直しと効率的な利用に加え、適切な財源の確保が不可欠となっている。

（４）経営指標に関する事項

令和３年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、一般会計繰入金の減に伴う経常収益の減少により、前年度比 15.52 ポイント減の 110.93%となったが、健全経営の水準とされる 100%は上回っている。また、適正な使用料の妥当性を示す経費回収率は、汚水処理費用の削減と昨年度よりも分流式に要する経費が増額したことにより、前年度比 42.94 ポイント増の 106.88%となった。一方、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は前年度比 5.51 ポイント増の 11.00%となっている。

〈経営指標の推移〉

経営指標	R2	R3
経常収支比率	126.45%	110.93%
経費回収率	63.94%	106.88%
有形固定資産減価償却率	5.49%	11.00%